

# 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー 資格更新のための研修について

第13回日本アスレティックトレーニング学会学術大会は、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格更新のための研修の一つとなります。

本学術大会を資格更新研修として申請するためには、更新単位手数料2,000円※が必要となります（学会員・非学会員ともに）ので、参加申し込みの際、学術大会参加費と合わせてお支払いください。

※JATI認定資格の継続単位取得、NSCA認定資格のCEU取得、健康運動指導士ならびに健康運動実践指導者を合わせて希望される方におかれましても、お支払いは2,000円となります。

更新研修の実績反映を希望される方は下記の通り手続きを行ってください。

## <更新研修受講終了申請方法>

① 合計視聴・聴講時間が4時間（240分）以上になるように指定演題を聴講（来場参加）もしくは複数視聴（オンデマンド）し、オンデマンド視聴については学術大会事務局が準備するアンケートを演題毎に必ず回答してください。

※ それぞれのプログラムには決められた講演時間がありますので、最初から最後まで視聴もしくは聴講してください。オンデマンド視聴については、視聴記録が不十分と判断した場合や演題毎のアンケートに回答がない場合、その講演については視聴時間にはカウントされませんのでご注意ください。

※ 来場参加とオンデマンド視聴を併用して合計聴講・視聴時間を満たすことも可能です。その場合、視聴分はアンケート回答（対象プログラム毎にGoogleフォームへの回答）をもって受講したと証明されますのでご注意ください。

② 次ページ以降の「出席確認カード」（※1）に必要事項を記入のうえ、メールまたはFAXにて日本スポーツ協会に提出してください（メールの場合画像データをお送りください）。その際、2ページ目に領収書（コピー、※2）と一次救命処置（BLS）資格の認定証（コピー、※3）を貼付してください。

※1. 「出席確認カード」は日本スポーツ協会のHPからもダウンロード可能です。

（トップページ>スポーツ指導者>資格更新のための研修>アスレティックトレーナー更新研修）

※2. 領収証は学術大会参加費の領収証になります。学術大会の参加登録サイトにてアカウントの登録が完了し、入金手続きまで済みましたら、領収証の発行が可能となります。詳細は学術大会HPにてご確認ください。

※3. BLS 資格の認定証は必ず有効期限が確認できる部分を貼付してください。添付がない場合、出席確認カードを送付いただいても更新研修修了の実績となりませんのでご注意ください。

## <提出方法>

出席確認カードをメールもしくはFAXでご提出ください。

アドレス：[drat-kakunin@japan-sports.or.jp](mailto:drat-kakunin@japan-sports.or.jp)

※右QRコードを読み取ると上記アドレス宛のメールが立ち上がります

FAX : 03-6910-5820



## <送付期限>

現地参加のみの申請：2024年10月7日（月）

オンライン参加のみ、またはオンライン参加を含めた申請：オンライン視聴期間終了後3週間以内

→オンライン視聴期間（予定）2024年10月初旬～10月31日（木）

※編集により前後する場合がございます。

## <研修受講状況および資格有効期限確認方法等>

- 指導者マイページからご確認ください。 URL⇒<https://my.japan-sports.or.jp>
- オンライン参加のみ、またはオンライン参加を含めた申請の場合、2024年10月～2025年3月期の受講実績となります。
- 登録状況および指導者マイページに関するご質問は下記までお問い合わせください。  
TEL：03-5859-0371（公認スポーツ指導者登録係）
- 既に有効期限が切れている方は、資格の更新にあたり「再登録申請書」の提出および再登録料が別途必要となる場合がありますので、出席確認カードを提出後、日本スポーツ協会までお問い合わせください。
- マイページ上の更新研修受講状況の反映には、出席確認カードの送付期限終了日から一ヶ月程度お時間をいただきます。予めご了承ください。

**日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー 更新研修**  
**第13回日本アスレティックトレーニング学会学術大会**  
**出席確認カード**

|                     |      |  |  |  |  |                 |                     |  |
|---------------------|------|--|--|--|--|-----------------|---------------------|--|
| 登録番号（7桁）            |      |  |  |  |  |                 | 生年月日（西暦）            |  |
| フリガナ                |      |  |  |  |  | 年      月      日 |                     |  |
| 氏名                  |      |  |  |  |  |                 |                     |  |
| 参加形態<br>(○をつけてください) | 現地参加 |  |  |  |  | オンデマンド参加        |                     |  |
|                     |      |  |  |  |  |                 | ハイブリッド参加（現地/オンデマンド） |  |

**<更新研修実績の申請方法>**

- ① 合計視聴・聴講時間が4時間(240分)以上になるように指定演題を複数視聴してください。
- ③ 視聴・聴講した演題に「○」をつけ、視聴・聴講時間の合計を記入してください。
- ④ **所定の欄に領収書のコピー及びBLS資格認定証の写しを貼付のうえ、上記の送付期限までに日本スポーツ協会へメールまたはFAXにて提出してください。**
- ⑤

| セッション                 | プログラム  | 時間  | 現地 | オンデマンド |
|-----------------------|--|-----|----|--------|
| 大会長基調講演               | アスレティックトレーニングを支える経験・研究・教育の連携   | 30分 |    |        |
| シンポジウム1               | パリ2024夏季オリンピック・パラリンピックにおけるスポーツ医科学サポート  | 90分 |    |        |
| シンポジウム2               | アスレティックトレーナーのキャリアパス-現状と課題,そして将来への展望  | 90分 |    |        |
| シンポジウム3               | 性差を考慮したコンディショニング   | 90分 |    |        |
| 公開シンポジウム              | 地域における「これからのスポーツ・運動」を考える－すべての人々のwell-being向上を目指して－                           | 80分 |    |        |
| 教育講演                  | 女性の活躍を支える組織文化をめざして   | 60分 |    |        |
|                       | アスリートを支えるデータベースの構築と今後の展望   | 60分 |    |        |
|                       | The Foot Core System in Lower Extremity Injury Rehabilitation and Prevention | 60分 |    |        |
|                       | 学校医・教育者・研究者の視点から考えるアスリートサポートシステムとアスレティックトレーナーとの連携                            | 60分 |    |        |
| 報告会                   | The 7th IOC World Conference on Prevention of Injury and Illness in Sportの報告 | 60分 |    |        |
| 学術ワークショップ<br>(オンデマンド) | 実践研究への挑戦 - 第12回大会での口頭発表に至るまで -   | 60分 |    |        |
|                       | 発表カテゴリ・研究デザインの確認   | 30分 |    |        |
|                       | 論文検索・方法の決定   | 30分 |    |        |
|                       | データの分析   | 30分 |    |        |
| クリニカル<br>ワークショップ      | スポーツ現場における頭頸部外傷に対する緊急対応  | 80分 |    |        |
|                       | オーラルコンディショニング<br>～スポーツの場でパフォーマンスを発揮するための「オーラルコンディショニング」とは～ (Day 1)           | 60分 |    |        |
|                       | 大事なはずなのに意外と知らない、呼吸と体幹の関係性とAT現場での活用   | 80分 |    |        |
|                       | コーチングの手法を用いたエクササイズ指導   | 60分 |    |        |
|                       | オーラルコンディショニング<br>～スポーツの場でパフォーマンスを発揮するための「オーラルコンディショニング」とは～ (Day 2)           | 60分 |    |        |
|                       | 野球肘のリコンディショニング -職種間連携を踏まえて-  | 90分 |    |        |

|    |   |
|----|---|
| 合計 | 分 |
|----|---|